

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

< 第47週 >

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報  
P.7-8

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2013年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報  
P.9-15

中米におけるコレラの流行状況について / アフリカにおける感染症の発生状況について / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について / シリアでポリオの患者が発生しました



感染症の話  
P.16

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(47週)  
P.17-23



47週のデータ  
P.24-37



# 発生動向総覧

< 第47週コメント > 11月27日集計分

## 全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

### 1類感染症

報告なし

### 2類感染症

結核356例

### 3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. sonnei* (D群) 2例\_感染地域: 福岡県1例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症50例( 有症者23例、うちHUS 2例 )

感染地域: 国内50例

国内の感染地域: 島根県16例\*、埼玉県7例、長崎県4例、茨城県3例、東京都3例、大阪府2例、福岡県2例、北海道1例、宮城県1例、千葉県1例、福井県1例、静岡県1例、京都府1例、和歌山県1例、広島県1例、香川県1例、宮崎県1例、鹿児島県1例、不明2例

\* 社会福祉施設に関連した集団感染例を含む( O111 VT1 )

年齢群: 0歳( 1例 )、1歳( 4例 )、2歳( 9例 )、3歳( 3例 )、4歳( 1例 )、5歳( 2例 )、6歳( 1例 )、8歳( 1例 )、9歳( 1例 )、10代( 7例 )、20代( 6例 )、30代( 5例 )、40代( 1例 )、50代( 2例 )、60代( 3例 )、70代( 1例 )、80代( 2例 )

血清型・毒素型: O111 VT1( 16例 )、O157 VT1・VT2( 16例 )、O157 VT2( 7例 )、O26 VT1( 2例 )、O103 VT1( 2例 )、O91 VT1( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、O146 VT2( 1例 )、O157 VT1( 1例 )、O157 VT不明( 1例 )、その他・不明( 2例 )

累積報告数: 3,752例( 有症者2,497例、うちHUS 80例、死亡4例 )

腸チフス1例 感染地域: インドネシア

パラチフス1例 感染地域: インドネシア

### 4類感染症

E型肝炎3例 感染地域( 感染源 ): 群馬県1例( 不明 )、千葉県1例( 豚肉 )、東京都1例( 不明 )

A型肝炎2例 感染地域: 国内( 都道府県不明 ) 2例

コクシジオイデス症1例 感染地域: 米国

チクングニア熱1例 感染地域: フィリピン

- つつが虫病18例 感染地域: 神奈川県5例、宮崎県3例、鹿児島県3例、佐賀県2例、福島県1例、富山県1例、静岡県1例、広島県1例、長崎県1例
- デング熱4例 感染地域: フィリピン3例、タイ1例
- 日本紅斑熱2例 感染地域: 三重県1例、広島県1例
- マラリア1例 熱帯熱\_\_感染地域: ウガンダ
- ライム病1例 感染地域: 北海道
- レジオネラ症24例( 肺炎型23例、無症状病原体保有者1例 )  
 感染地域: 長野県3例、埼玉県2例、愛知県2例、大阪府2例、大分県2例、茨城県1例、栃木県1例、群馬県1例、兵庫県1例、島根県1例、岡山県1例、山口県1例、香川県1例、国内( 都道府県不明 )2例、韓国1例、中国1例、国内・国外不明1例  
 年齢群: 40代( 1例 )、50代( 5例 .うち1例死亡 )、60代( 5例 )、70代( 7例 )、80代( 4例 )、90代( 2例 )
- レプトスピラ症1例 感染地域: 岡山県\_\_感染源: 水田

**5類感染症**

- アメーバ赤痢9例( 腸管アメーバ症9例 )  
 感染地域: 栃木県1例、岐阜県1例、静岡県1例、国内( 都道府県不明 )5例、マレーシア1例  
 感染経路: 性的接触1例( 異性間 )、経口感染2例、不明6例
- ウイルス性肝炎2例 B型1例\_\_感染経路: 性的接触( 異性間 )  
 EBウイルス1例\_\_感染経路: 飛沫接触
- 急性脳炎1例 病原体不明\_\_年齢群: 7歳
- クロイツフェルト・ヤコブ病1例  
 遺伝性プリオン病家族性
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例  
 年齢群: 40代( 1例 .死亡 )、80代( 1例 .死亡 )
- 後天性免疫不全症候群16例( AIDS 1例、無症候12例、その他3例 )  
 感染地域: 国内13例、国内/タイ1例、タイ1例、国内・国外不明1例  
 感染経路: 性的接触15例( 異性間2例、同性間12例、異性/同性間1例 )、不明1例
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症2例( 菌検出検体: 血液2例 )  
 年齢群: 2歳( 1例 )、70代( 1例 )
- 侵襲性肺炎球菌感染症21例( 菌検出検体: 血液17例、血液・髄液2例、髄液2例 )  
 年齢群: 0歳( 1例 )、1歳( 3例 )、3歳( 1例 )、4歳( 1例 )、10代( 1例 )、30代( 1例 )、50代( 1例 )、60代( 3例 .うち1例死亡 )、70代( 4例 )、80代( 4例 )、90代( 1例 )
- 梅毒11例( 早期顕症I期5例、早期顕症II期3例、晩期顕症1例、無症候2例 )
- 風しん6例( 検査診断例4例、臨床診断例2例 )  
 感染地域: 愛知県2例、千葉県1例、東京都1例、国内( 都道府県不明 )2例

年齢群 : 20 ~ 24歳( 1例 ) 25 ~ 29歳( 1例 ) 30 ~ 34歳( 1例 ) 35 ~ 39歳( 1例 ) 40代( 2例 )

累積報告数 : 14,279例( 検査診断例9,828例、臨床診断例4,451例 )

麻疹1例〔麻疹( 検査診断例 )〕

感染地域 : 国内( 都道府県不明 )

年齢群 : 70代

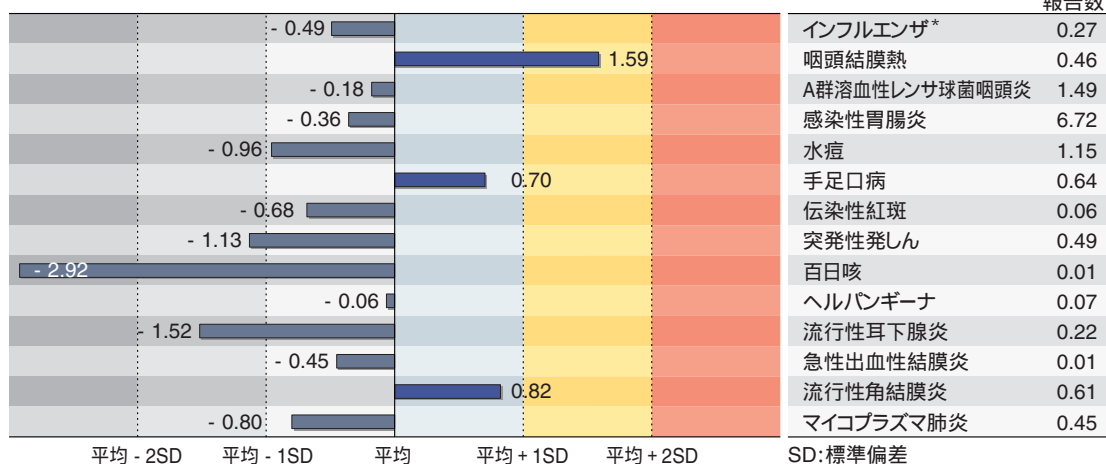
累積報告数 : 213例〔麻疹( 検査診断例89例、臨床診断例61例 ) 修飾麻疹63例〕

( 補 ) 2012年第47週から2013年第46週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例( 感染地域 : 北海道\_\_感染源 : 不明 )、デング熱1例( 感染地域 : インドネシア )、日本紅斑熱2例( 感染地域 : 和歌山県1例、鳥取県1例 )、急性脳炎3例〔ロタウイルス1例\_\_年齢群 : 0歳 . インフルエンザウイルスA型1例\_\_年齢群 : 5歳 . エンテロウイルス1例\_\_年齢群 : 0歳( 死亡 )〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔60代( 1例 ) 90代( 1例 . 死亡 )〕、侵襲性髄膜炎菌感染症1例〔感染地域 : 国内( 都道府県不明 )\_\_年齢群 : 80代〕などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第47週 )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。( \* 2009年のパンデミックの影響を受けています。 )

### インフルエンザ

定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は北海道( 1.29 )、沖縄県( 0.95 )、佐賀県( 0.82 )である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は20例と前週と比較して増加した。都道府県別では14都府県から報告があり、年齢別では1~9歳( 5例 )、10代( 3例 )、20代( 1例 )、40代( 2例 )、50代( 1例 )、70代( 3例 )、80歳以上( 5例 )であった。

#### 小児科定点報告疾患( 主なもの )

RSウイルス感染症の報告数は4,092例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県( 1.69 )、鹿児島県( 1.33 )、山形県( 1.07 )である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県( 5.07 )、北海道( 3.10 )、新潟県( 2.90 )である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県( 17.50 )、熊本県( 11.66 )、富山県( 11.55 )である。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岩手県( 2.78 )、福井県( 2.64 )、新潟県( 2.31 )である。

手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県( 4.67 )、鹿児島県( 3.67 )、佐賀県( 2.65 )である。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は鳥取県( 0.05 )、長崎県( 0.05 )、福島県( 0.04 )、岐阜県( 0.04 )である。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県( 0.34 )、福井県( 0.27 )、山形県( 0.23 )である。

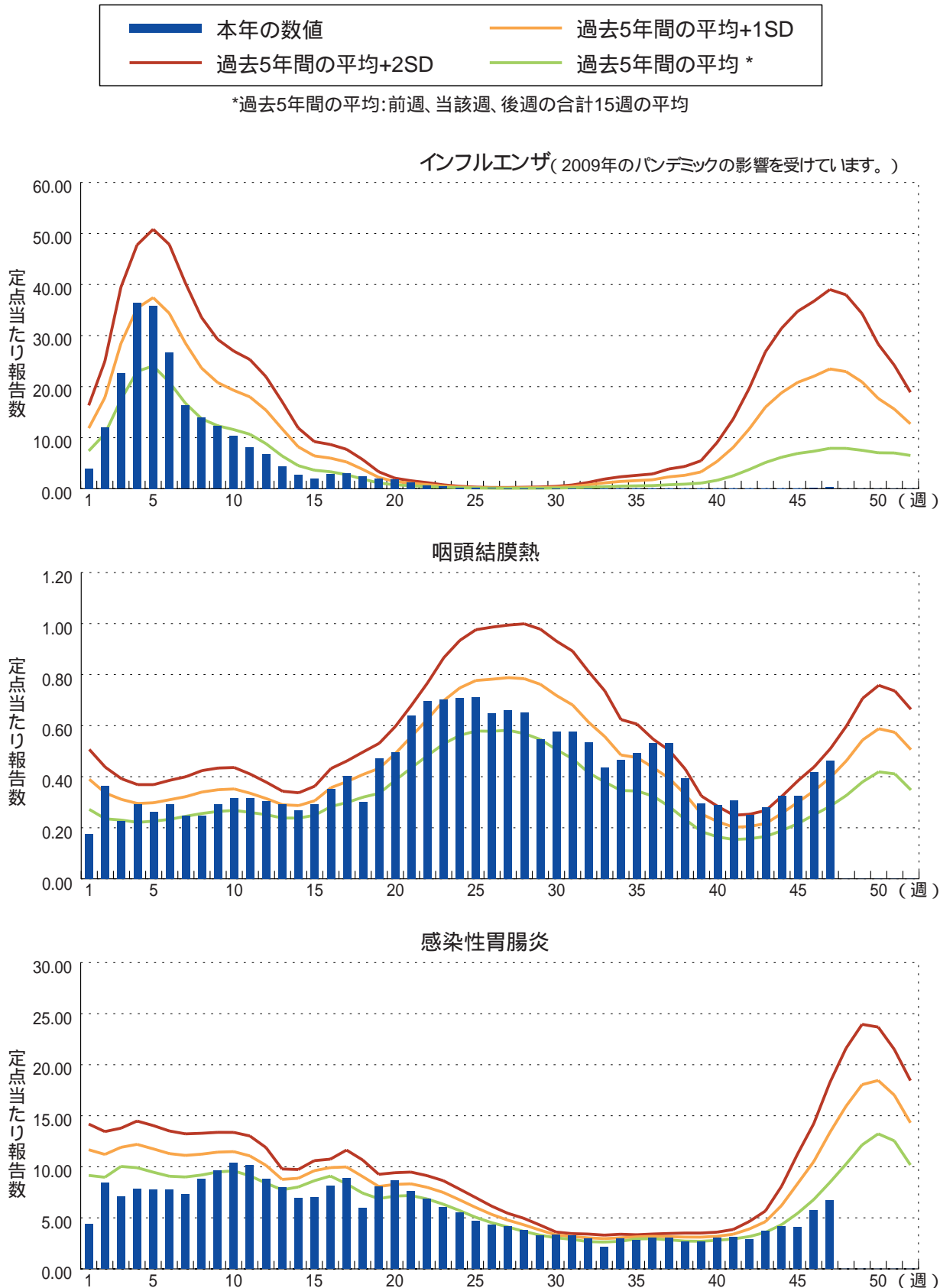
#### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は栃木県( 1.86 )、福島県( 1.57 )、岩手県( 1.53 )である。

感染性胃腸炎( ロタウイルスに限る )は増加した。都道府県別では10都府県から12例報告があり、年齢別では0歳( 3例 )、1~4歳( 7例 )、5~9歳( 2例 )であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2013年第47週 )

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html> )からの引用です。

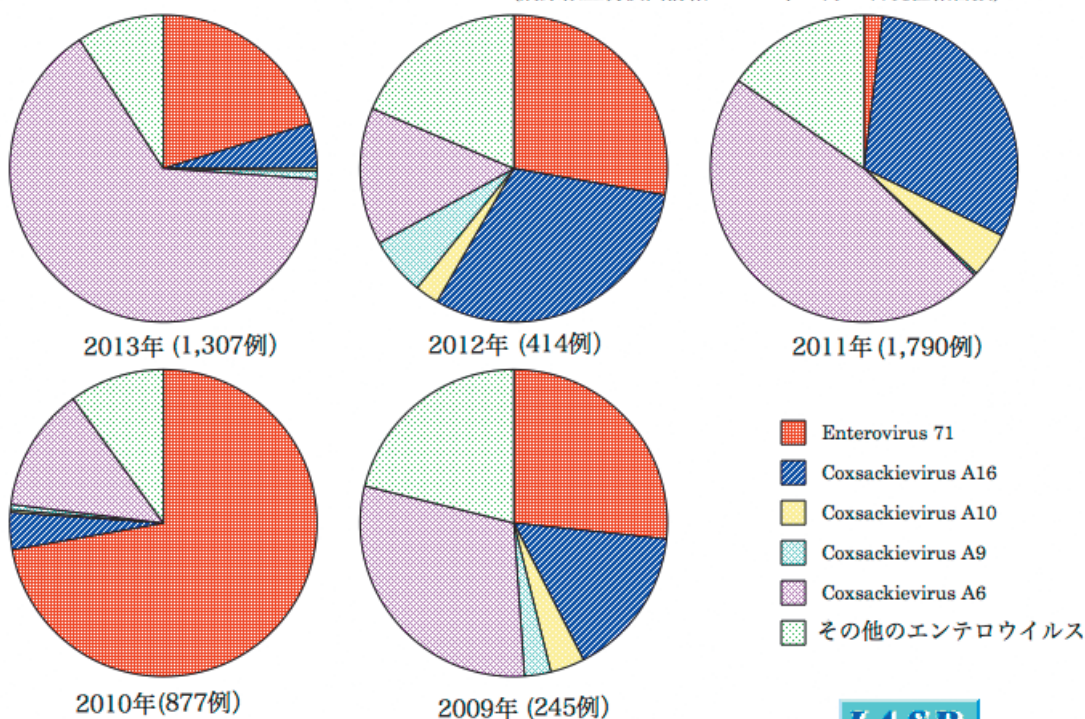
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2013年11月28日現在報告分 )

### 手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2013年

手足口病患者から分離・検出されたエンテロウイルス、2009～2013年

(病原微生物検出情報：2013年11月28日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



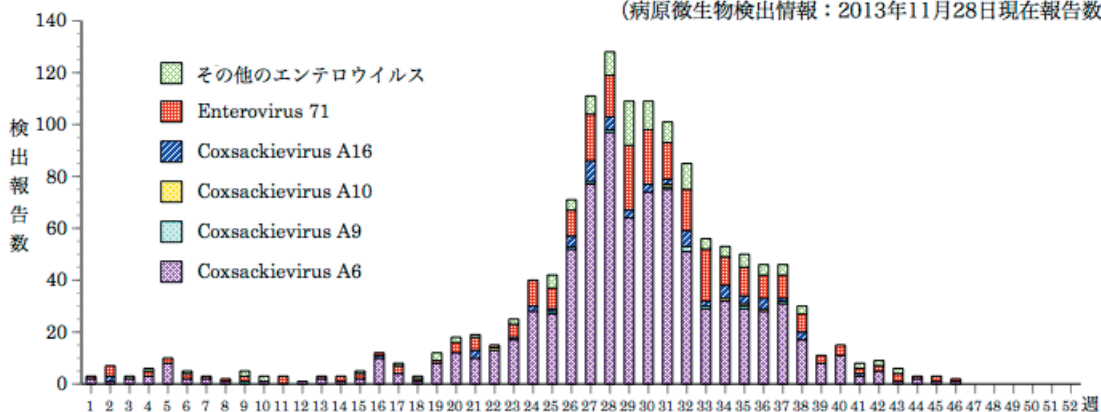
Infectious Agents Surveillance Report

2013年第1～46週までに手足口病患者より検出されているエンテロウイルスは、2011年に流行したコクサッキーウイルス(C)A6型が最も多く、44都道府県から846例報告されている。次いで、2010年に流行したエンテロウイルス71型が33都府県から266例、2011年後半から2012年に報告が続いていたCA16は13都道府県から60例報告されている。

この他にCA9が6府県から11例、CA10は5都府県から各1例報告されている。その他にはエンテロウイルス型不明57例など計119例が報告されている。

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2013年

(病原微生物検出情報：2013年11月28日現在報告数)

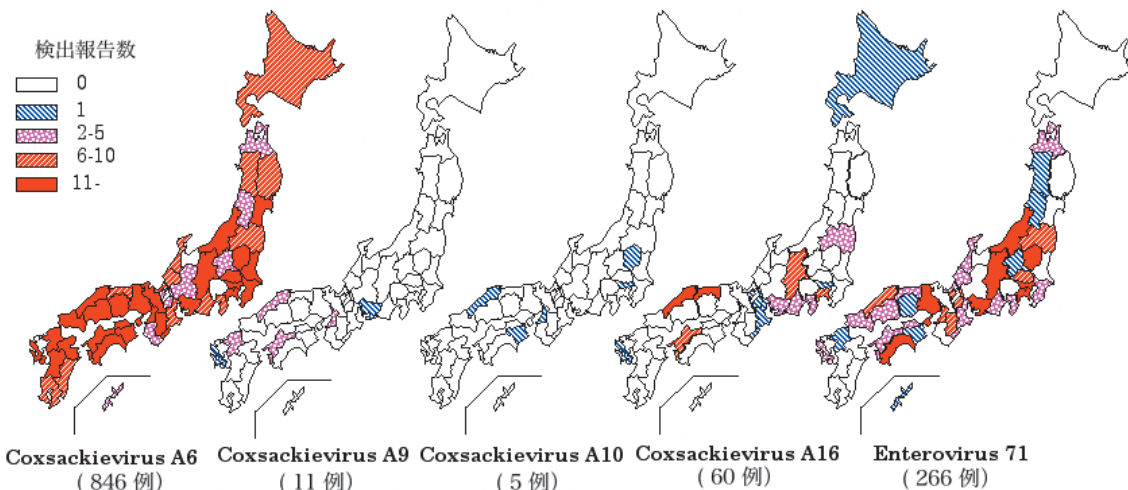


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別手足口病患者からの、コクサッキーウイルスA6型、コクサッキーウイルスA9型、コクサッキーウイルスA10型、コクサッキーウイルスA16型、エンテロウイルス71型分離・検出報告状況、2013年

(病原微生物検出情報：2013年11月28日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



手足口病からのウイルス検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1532-iasrgv.html>

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/2293-iasrgv4.html>

を参照下さい。





## 海外感染症情報

\*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### 中米におけるコレラの流行状況について( 更新10 )

2013年11月21日 WHO( PAHO )、2013年11月25日 WHO( GAR )

11月21日付けで公表された汎米保健機関( PAHO )の情報と11月25日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、メキシコ、キューバ、ドミニカ共和国、ハイチにおけるコレラの発生状況は下記の通りです。

#### ・メキシコの状況

メキシコ保健省は、コレラ菌( *Vibrio cholerae* )O1、血清型Ogawaに感染した患者が新たに4人発生したと報告しました。患者のうち3人はベラクルス( Veracruz )州から報告され、他の1人はイダルゴ( Hidalgo )州から報告されました。

メキシコでは、今年9月に集団感染が発生してから、これまでに、コレラ菌に感染したと確定された患者は184人と報告されており、このうち1人が死亡しました。確定患者のうち、160人はイダルゴ州、11人はベラクルス州、9人はメヒコ( Mexico )州、2人は連邦区、2人はサン・ルイス・ポトシ( San Luis Potosi )州で発生しました。

メキシコの保健当局は、サーベイランスの強化、医療へのアクセスと医療の質の確保を継続しています。市民への啓発活動は、特に水と食品の安全に重点が置かれ、スペイン語のほか、先住民族の言語でも行われています。様々なレベルの医療システムで保健の専門家がコレラの予防と治療に関するトレーニングを受けています。

疫学診断・レファレンス研究施設( Institute of Epidemiological Diagnostics and Reference )で行われたコレラ菌の感受性検査では、ドキシサイクリンとクロラムフェニコールに対しては感受性がありましたが、シプロフロキサシンに対する感受性が低下しており、トリメプリム・スルファメトキサゾールに対しては耐性を示しました。

メキシコにおけるコレラの地域内感染は、2001年以来、初めてのことです。メキシコの患者から分離された系統の遺伝子学的な特徴は、カリブ海諸国( ハイチ、ドミニカ共和国、キューバ )で流行している系統と高い相同性( 95% )がみられ、1991年から2001年の間にメキシコで流行した系統とは異なっています。

WHOは、メキシコのこの事例に関して渡航や貿易を制限することを推奨していません。

#### ・キューバの状況

キューバの保健当局は、複数の地域で発見された疑い患者の調査を継続しています。今年8月24日以降、国際保健規則の担当は新たな患者発生を報告していません。2012年第27週から今年第34週までに、合計678人の患者が発生し、このうち3人が死亡しました。

#### ・ドミニカ共和国の状況

ドミニカ共和国では、コレラの流行の始まり( 2010年11月 )から、今年第45週までに、31,206人の疑い患者が報告され、このうち462人が死亡しました。今年第41週から第45週に116人の疑い患者が報告され、このうち4人が死亡しました。過去2週間では、32州のうち12州で疑い患者が報告されました。過去2週間における疑い患者の92%は、アスア( Azua )、首都地区( Distrito Nacional )、プエルト・プラタ( Puerto Plata )、サン・クリストバル( San Cristobal )、サンティアゴ( Santiago )、サント・ドミンゴ( Santo Domingo )、ラ・ベガ( La Vega )で発生しました。

今年第41週以降、疑い患者数は減少しましたが、過去2週間で増加しました、現時点では、疑

い患者の報告数は減少傾向にあります。今年の致死率は2.2%で、2011年の致死率( 1.7% )と2012年の致死率( 0.8% )に比べ、高くなっています。保健当局は調査を行い、対応策を実施しています。

・ハイチの状況

ハイチでは、コレラの流行が始まり( 2010年10月)から、今年11月13日までに報告されたコレラの患者は合計689,448人に達しており、そのうち384,956人( 55.8% )が入院し、8,448人が死亡しました。全国の累積致死率は1.2%ですが、地域によって異なり、南東( Sud Est )県では4.4%であり、ポルトープランス( Port-au-Prince )では0.6%です。過去2週間で患者数は増加傾向を示しました。10月26日付の更新情報以降、新たに5,363人の患者が発生し、このうち87人が死亡しました。新たな患者はハイチの全県から報告されました。

アフリカにおける感染症の発生状況について

2013年11月22日 WHO( AFRO )

11月22日付けで公表された世界保健機関( WHO )アフリカ地域事務局( AFRO )の情報によりますと、アフリカでコレラやポリオなどの患者が発生しています。

・コレラ

今年11月11日までに、21か国から39,898人のコレラ患者が報告され、そのうち862人が死亡しました( 致死率は2.2%です )。患者の58%はコンゴ民主共和国で発生しており、ナイジェリアとアンゴラもともに患者の10%を占めています。患者が発生した国では、予防と制御のための措置が行われています。

コンゴ民主共和国では、今年1月から11月11日までに23,251人のコレラ患者が発生し、このうち399人が死亡しました( 致死率は1.7%です )。患者は11州のうち10州から報告されており、患者数が最も多く報告されているのはカタンガ( Katanga )州です。

ブルンジでは、コンゴ民主共和国とタンザニアとの国境付近でコレラの集団感染が発生しています。11月4日時点で12地域から1,576人の患者が報告されており、このうち16人が死亡しました( 致死率は1%です )。

ナイジェリアでは、9月にコレラの患者数が急増し、10月と11月も増加しています。今年1月から11月11日までに4,220人の疑い患者が報告され、このうち145人が死亡しました( 致死率は3.5%です )。患者は16州の51地域で報告されています。43人が検査によってコレラと確定診断されました。昨年同時期の疑い患者数は581人で、このうち15人が死亡しました( 致死率は2.6%です )。

トーゴでは、今年8月29日から11月18日までに130人の疑い患者が報告され、このうち7人が死亡しました( 致死率は5.8%です )。84検体のうち52検体でコレラ菌が検出されました。

・ポリオ

11月4日時点で73人の野生株ポリオウイルス1型の患者が73人( ナイジェリアで51人、ケニアで14人、エチオピアで6人、カメルーンで2人 )報告されています。昨年の同時期は91人でした。患者のうち、最近報告された患者はカメルーンの患者で10月19日に発症しました。患者の発生を受けて、数回の大規模な予防接種活動が行われ、サーベイランスも強化されています。

・ 狂犬病

コンゴ共和国の保健省は、ポワントノワール( Pointe Noire )市で発生した狂犬病に対応しています。11月18日時点で5人が犬に咬まれた後に狂犬病の症状が現れました。このほかに149人が犬に咬まれて暴露後のワクチン接種を受けています。149人のうち2人が発症し、ポワントノワール市内で治療を受けています。動物の検体の検査がブラザヴィールと南アフリカの獣医学研究所で行われ、狂犬病ウイルスが陽性と判明しました。

・ 海産物による食中毒

マダガスカルでは、海産物による食中毒が発生しました。116人が発症し、このうち3人が死亡しました( 致死率は2.5%です )。患者はトアマシナ( Toamasina )から約100km離れた地域で発生しました。保健当局は、11月10日の夜から11日にかけて捕獲されたサメの喫食が原因として疑っています。主な症状は、頭痛、筋肉痛、脱力感、意識レベルの低下です。マダガスカルでは、海産物による食中毒は、比較的好くみられ、特に10月から5月の温暖な時期に多く発生します。シガテラ プランクトンが産生する毒素に汚染された魚介類を摂取することで発生する食中毒)が最も多く発生しています。

・ 原因不明の疾患

ニジェール西部のティラベリ( Tillaberi )州で、8月28日から10月12日にかけて原因不明の疾患で24人の患者が報告され、このうち7人が死亡しました( 致死率は29%でした )。ジフテリアが疑われ、5人の咽頭ぬぐい液と2人の血清でジフテリアの検査が行われましたが、いずれも陰性でした。ニジェール保健省は複数の部門から構成される対策本部を立ち上げ、調査を進めています。WHOは保健省を支援するために微生物学者を派遣しました。

タンザニアの保健社会福祉省はカスル( Kasulu )で発生した原因不明の疾患の調査を行っています。8月20日から10月23日までに690人の患者が報告されました( 死亡者は報告されていません )。患者の主な症状は、発熱、頭痛、嘔吐、腹痛です。患者数名の検体でデング熱と黄熱の検査が行われましたが、いずれも陰性でした。原因を究明するため、さらに検査が行われています。鑑別診断として、マalaria、デング熱、黄熱、A型肝炎、E型肝炎などが考えられています。

中東呼吸器症候群( MERS )の発生状況について( 更新57 )

2013年11月26日 WHO( GAR )

11月26日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、サウジアラビアでMERS ( マーズ )コロナウイルスに感染した確定患者が新たに3人発生しました。

1人目の患者はリヤド( Riyadh )の73歳の女性で、基礎疾患( 持病 )がありました。11月12日に発症し、11月14日に入院しましたが、11月18日に死亡しました。2人目の患者はジャウフ( Jawf )の65歳の男性で、基礎疾患がありました。11月4日に発症し、11月14日に入院しました。3人目の患者はリヤドの37歳の男性で、11月9日に発症し、11月13日に入院しましたが、11月18日に死亡しました。3人の患者は動物との接触や、以前にMERSコロナウイルスに感染したと確定診断された患者との接触はありませんでした。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は160人で、このうち68人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染

症( SARI )のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

これまでに報告された患者は初発症状として呼吸器疾患がみられました。下痢のほか、ショックを伴う腎不全や急性呼吸窮迫症候群( ARDS )を含む合併症もみられています。重症の免疫不全患者では、典型的な所見や症状がみられない可能性もあります。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態( Public Health Emergency of International Concern : PHEIC )の要件は満たしていないと助言しました。

### シリアでポリオの患者が発生しました( 更新3 )

2013年11月26日 WHO( GAR )

11月26日付けで世界保健機関( WHO )から公表された情報によりますと、シリアで17人が野生株ポリオウイルス1型に感染したと確定されました。デリゾール( Deir Al Zour )で15人の患者が発生したほか、ダマスカス( Damascus )県で1人、アレッポ( Aleppo )県で1人の患者が発生し、ウイルスが広範囲に流行していることが確認されました。最近発生した患者は10月8日に麻痺を発症しました。

この地域の全域で、総合的な集団発生への対応が継続して行われています。7つの国・地域で、5歳未満の小児の2,200万人を対象としたポリオの集団予防接種が行われています。WHOの東地中海事務局( EMRO )管内のすべての国は、合同決議で、ポリオの根絶が緊急事態であると宣言し、現在、ポリオの予防接種を受けていない小児に予防接種が実施できるよう支援を求めました。WHO と国連児童基金( UNICEF )は、シリアのすべての小児が居住地にかかわらず、予防接種を受けられるよう、係争中の地域へ人道支援を行っている組織・団体と協働しています。

集団発生への対応は11月初旬に開始され、地域の状況と疫学的な状況によっては、少なくとも6か月から8か月の間続くと想定されています。

現在のシリアの状況では、頻繁な人口の移動があり、重要な地域における予防接種率が低下

しているため、野生株ポリオウイルス1型が国際的に広がるリスクが高いと考えられています。さらに潜在的な患者を積極的に検出するために、この地域に対してサーベイランスに関する警告が出されました。また、経口生ポリオワクチンによる追加の予防接種活動が推奨され、実施するように求められています。

### 中東呼吸器症候群( MERS )の発生状況について( 更新58 )

2013年11月29日 WHO( GAR )

11月29日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、カタールの国際保健規則の担当は、最高保健評議会と環境省が、オランダ保健省の国立公衆衛生環境研究所並びに( RIVM )エラスムス医療センターと協力し、MERS( マーズ )コロナウイルスに感染した確定患者2人と関連があった飼育小屋のラクダの群れから、MERSコロナウイルスを検出したとWHOに報告しました。

患者の詳細は、過去の情報( 10月18日付けの情報と10月29日付けの情報 )を参照してください。

#### ・カタールの調査結果

MERS( マーズ )コロナウイルスに感染した2人の確定患者が発生したことで、カタールの当局( 公衆衛生部門と動物資源部門 )は、WHOと国際連合食糧農業機関( FAO )によって設立された国際チームの支援を受け、人への感染源となり得るものについて、広範囲に渡る疫学調査を実施しました。

RIVMとエラスムス医療センターで行われた検査で、患者2人と接触のあった14頭の動物のうち、3頭のラクダからMERSコロナウイルスが確認されました。予防措置として農場の14頭のラクダは隔離されています。すべてのラクダは検体が採取された日とその後40日間、無症状または軽症でした。2人の確定患者の接触者は、この飼育小屋で雇用されていた労働者と同様にスクリーニング検査を受けましたが、全員がMERSコロナウイルス陰性でした。

この結果は、ラクダがMERSコロナウイルスに感染し得ることを示していますが、ラクダや他の動物が、人への感染や人からの感染を含め、ウイルスの伝播にどのような役割を果たすのかを示す情報は不足しています。最高保健評議会は、他の動物種や飼育小屋の環境から採取された検体を更に検査するために、RIVMとエラスムス医療センターと連携しています。また、公衆衛生部門と動物資源部門は、動物と濃厚接触がある人の感染リスクを調査するため、国レベルで、更なる研究を実施しています。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、これらの結果を更に評価し、必要に応じて指針を改定するために、カタールの当局と連携しています。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は160人で、このうち68人が死亡しました。

#### ・WHOのMERSコロナウイルスに関する指針

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染

症( SARI )のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

これまでに報告された患者は初発症状として呼吸器疾患がみられました。下痢のほか、ショックを伴う腎不全や急性呼吸窮迫症候群( ARDS )を含む合併症もみられています。重症の免疫不全患者では、典型的な所見や症状がみられない可能性もあります。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態( Public Health Emergency of International Concern : PHEIC )の要件は満たしていないと助言しました。

### 中東呼吸器症候群( MERS )の発生状況について( 更新59 )

2013年12月2日 WHO( GAR )

12月2日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、WHOは12月1日、アラブ首長国連邦でMERS( マーズ )コロナウイルスに感染した確定患者が新たに3人発生したとの報告を受けました。

3人の患者は、アブダビ( Abu Dhabi )の同一家族内で発生しました。患者は、母( 32歳 )、父( 38歳 )、息子( 8歳 )です。最も早く発症した患者の発症日は11月15日でした。母と父は入院中で、重篤な状態です。3人の患者は渡航歴がなく、確定患者や動物との接触歴もありませんでした。母は入院中に出産しました。8歳の息子には軽い呼吸器症状があり、家族の接触者に対する疫学調査で発見され、病院で隔離されています。家族、新生児、医療従事者の濃厚接触者に対して、更なる調査が進められています。

また、以前にカタールから報告された患者2人が11月15日と11月21日に死亡しました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は163人で、このうち71人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症( SARI )のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

これまでに報告された患者は初発症状として呼吸器疾患がみられました。下痢のほか、ショックを伴う腎不全や急性呼吸窮迫症候群( ARDS )を含む合併症もみられています。重症の免疫不全患者では、典型的な所見や症状がみられない可能性もあります。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態( Public Health Emergency of International Concern : PHEIC )の要件は満たしていないと助言しました。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>  
でご覧いただけます。

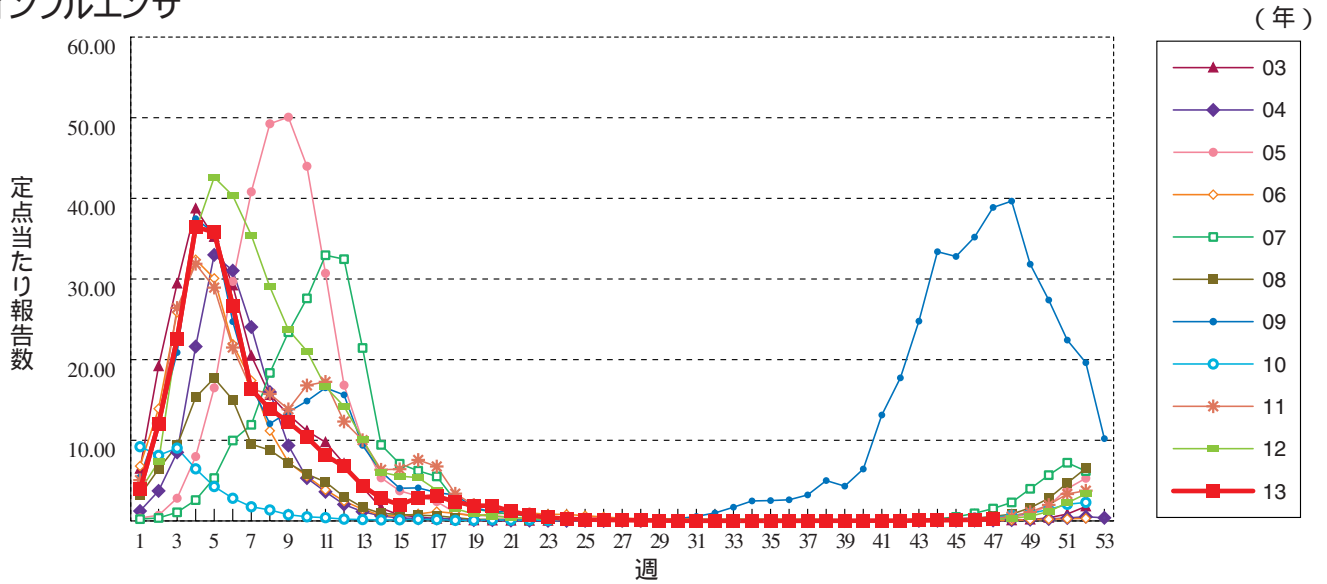
\*\*\*\*\*



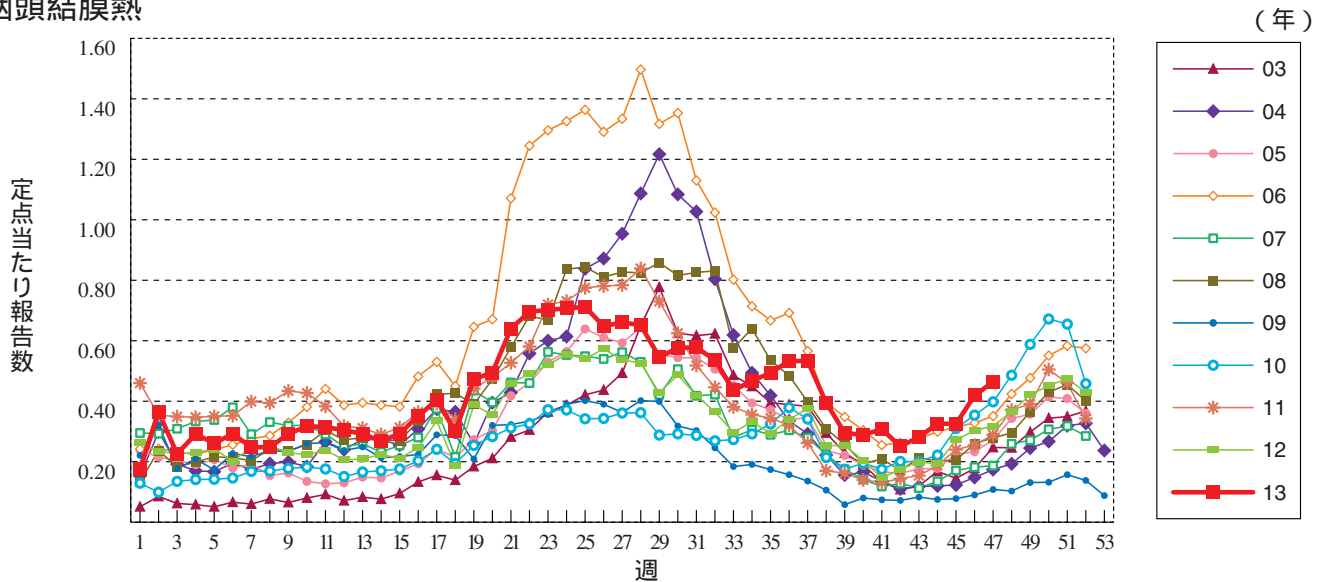


## グラフ総覧(47週)

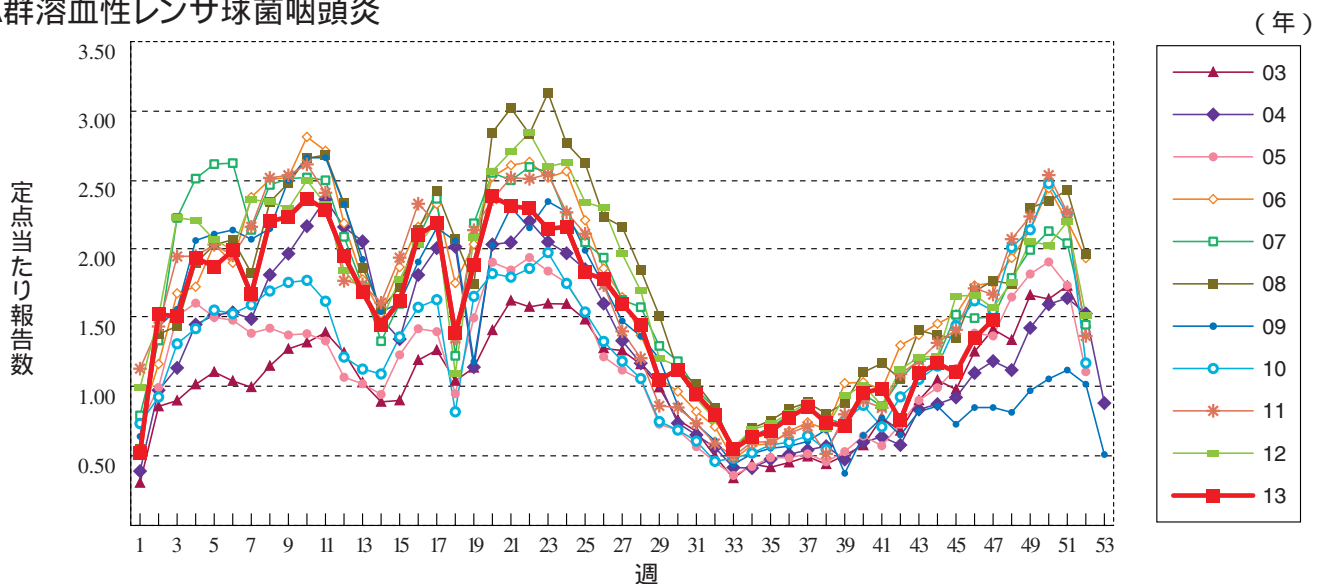
### インフルエンザ



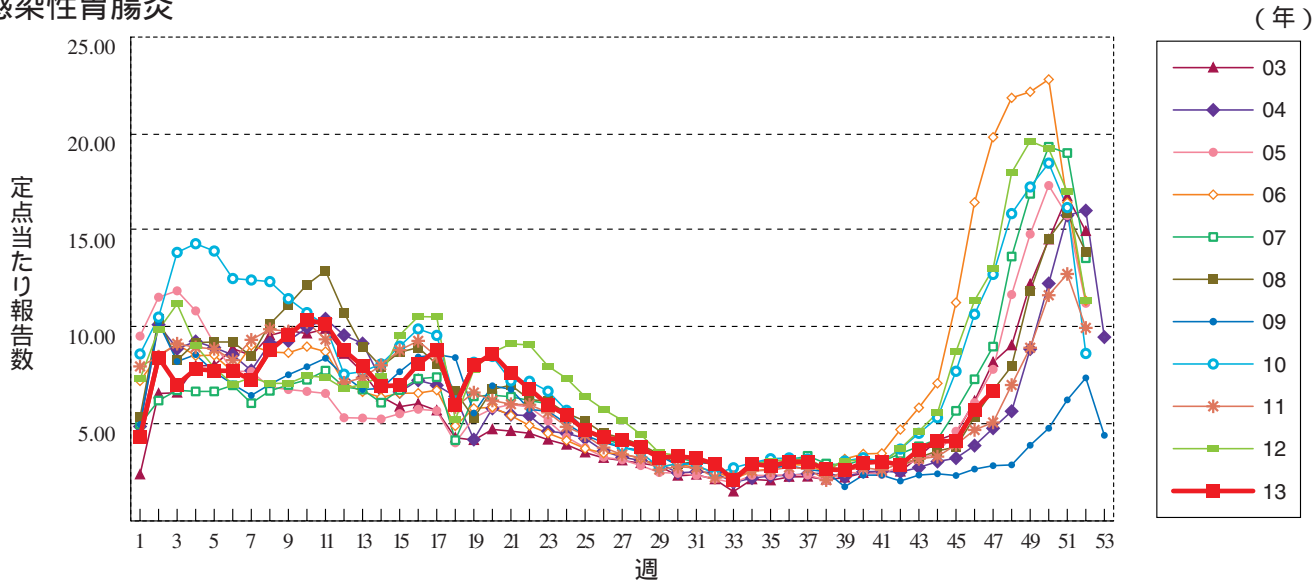
### 咽頭結膜熱



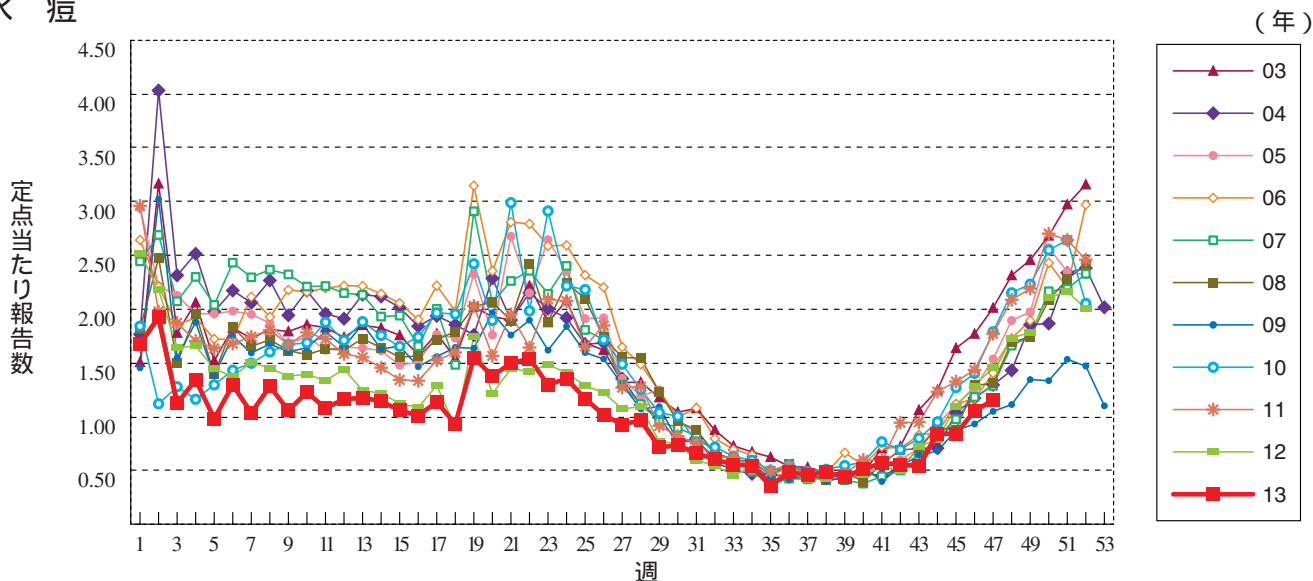
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



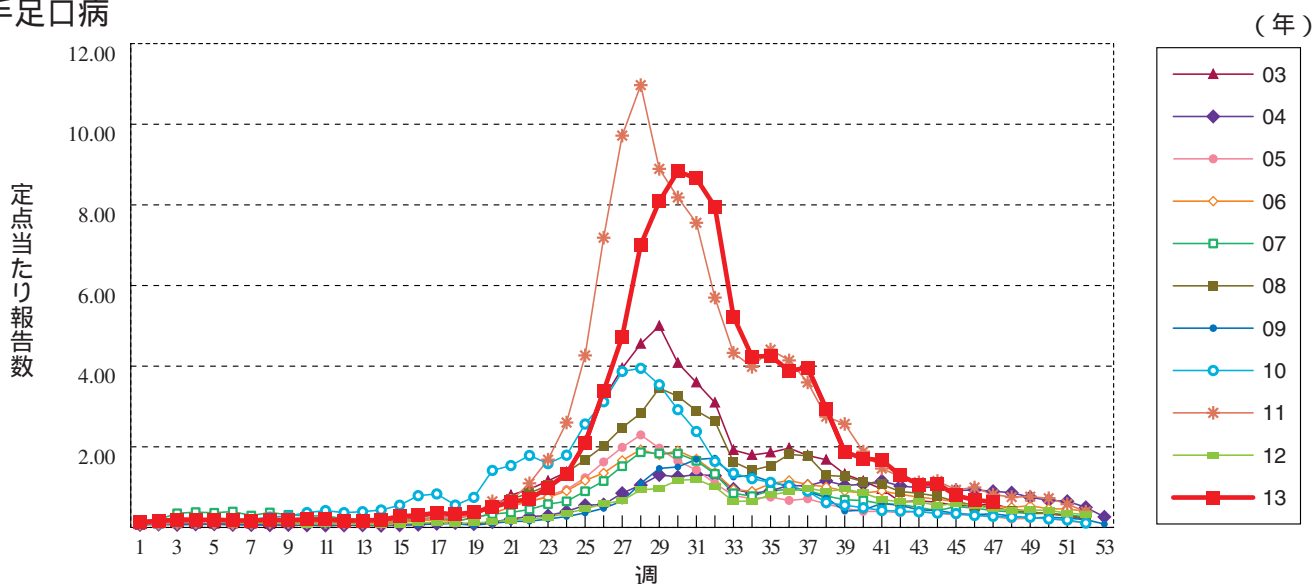
感染性胃腸炎



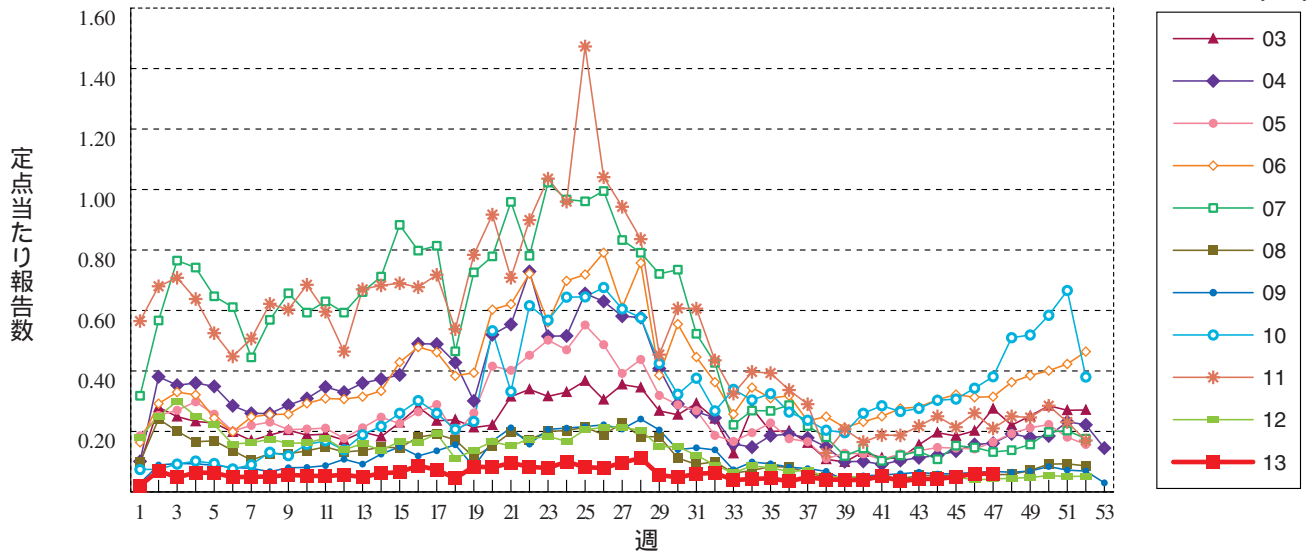
水痘



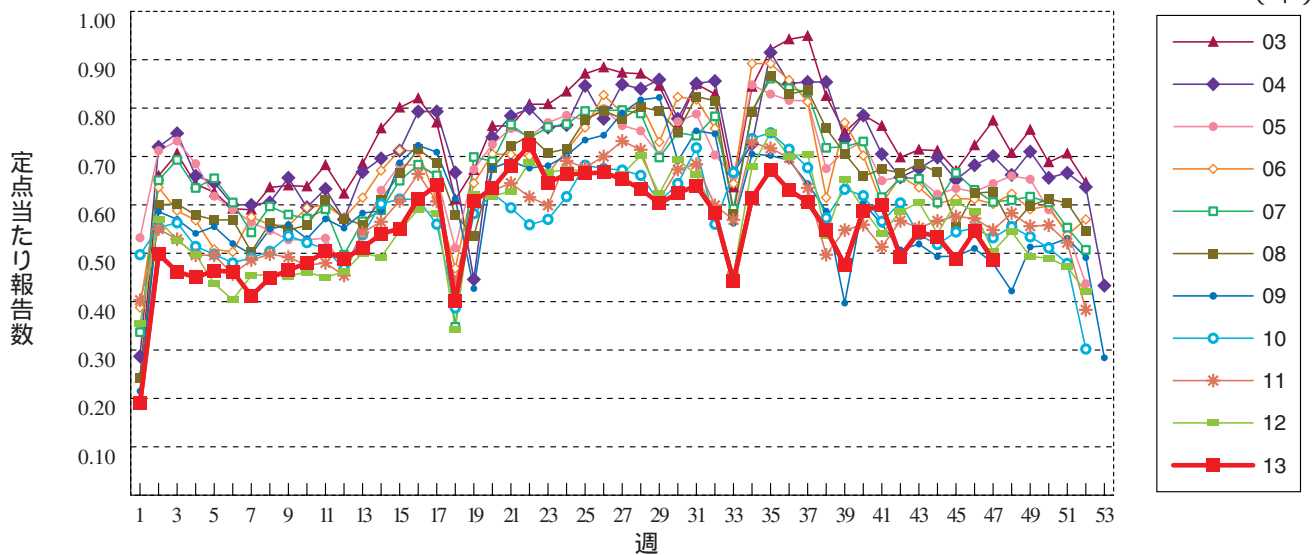
手足口病



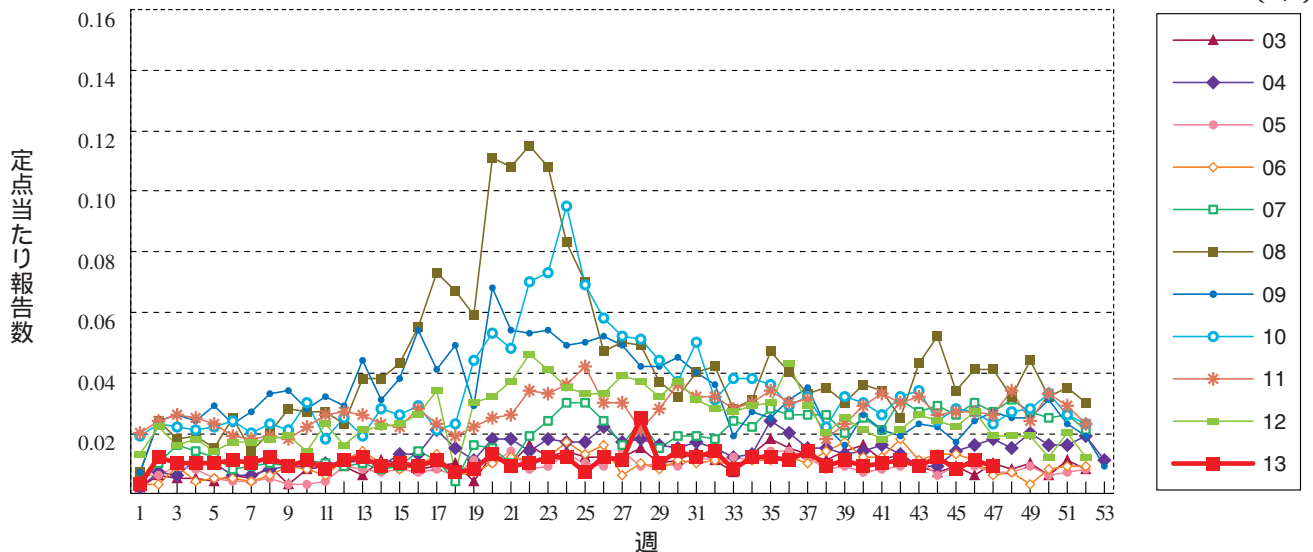
伝染性紅斑



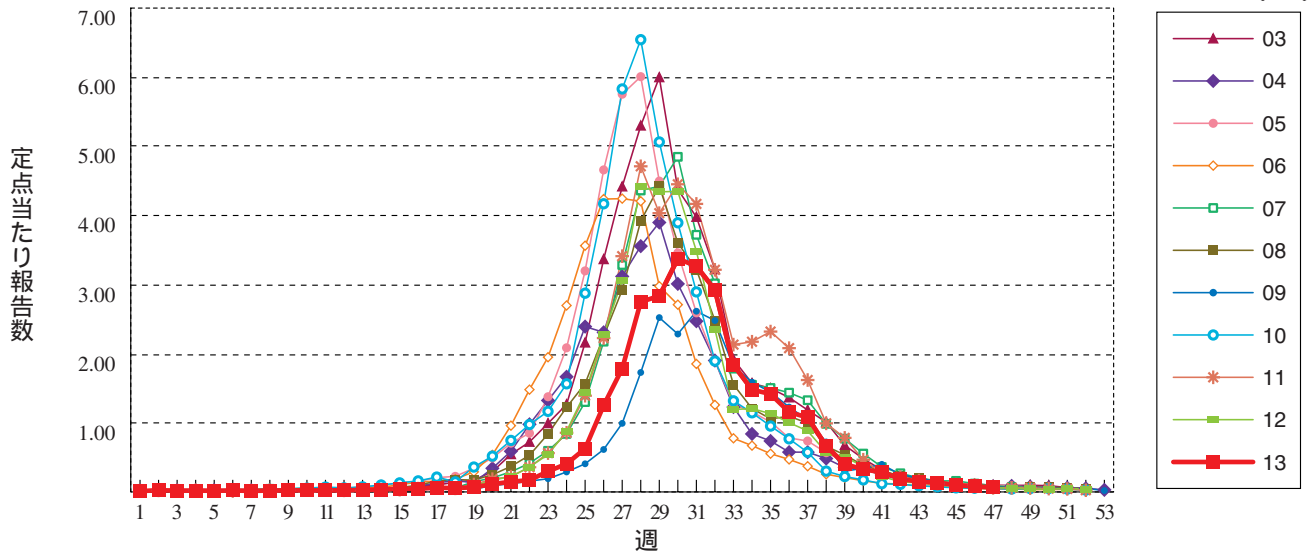
突発性発しん



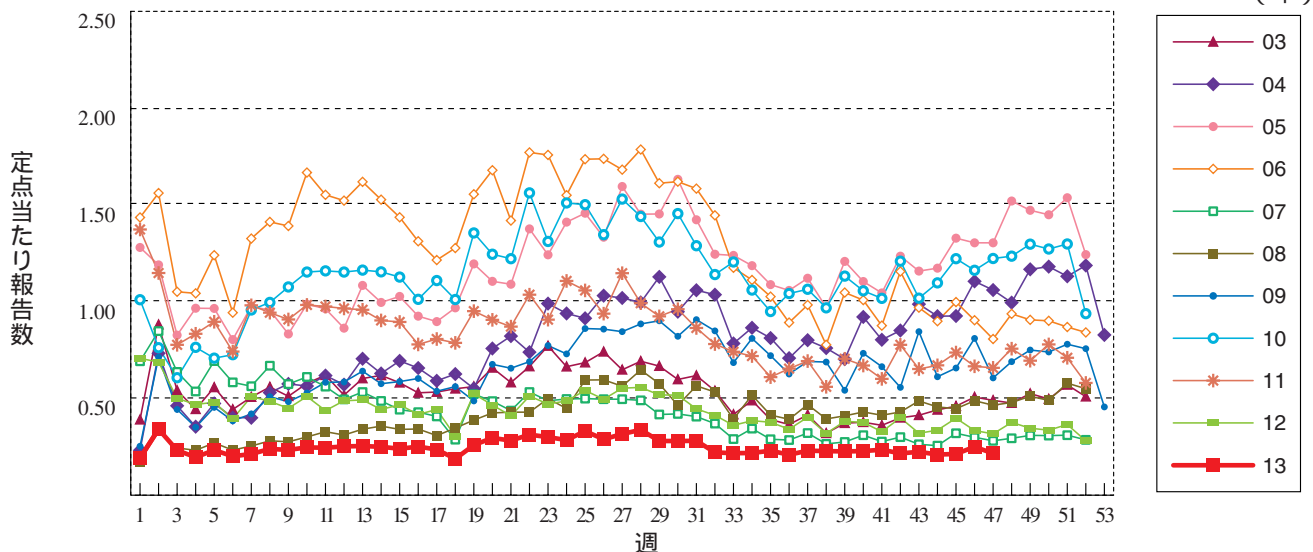
百日咳



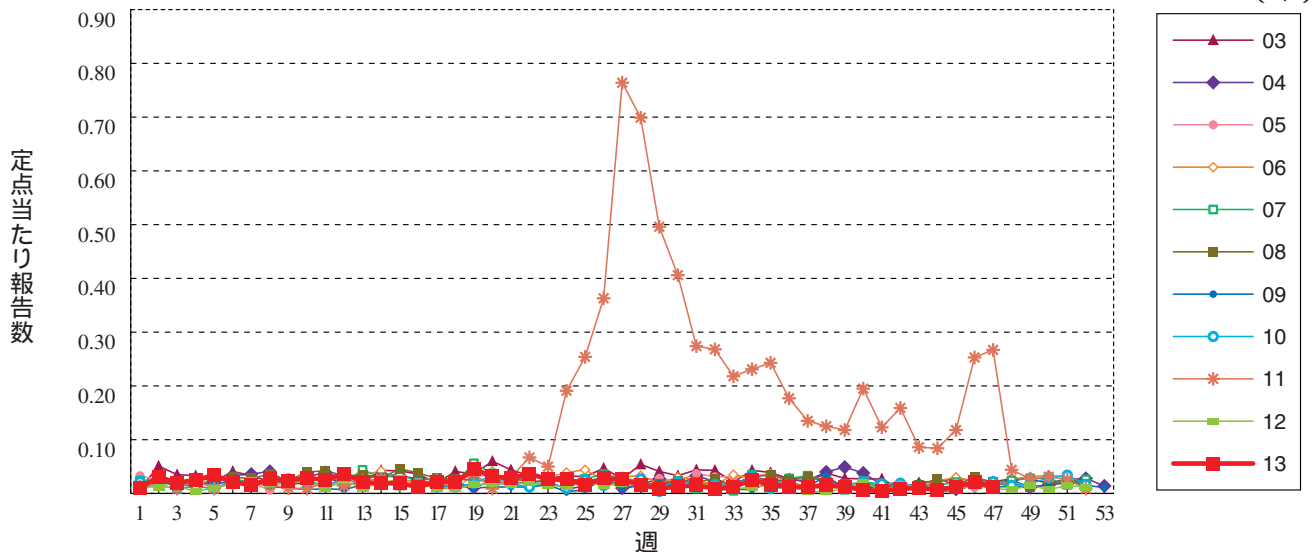
### ヘルパンギーナ



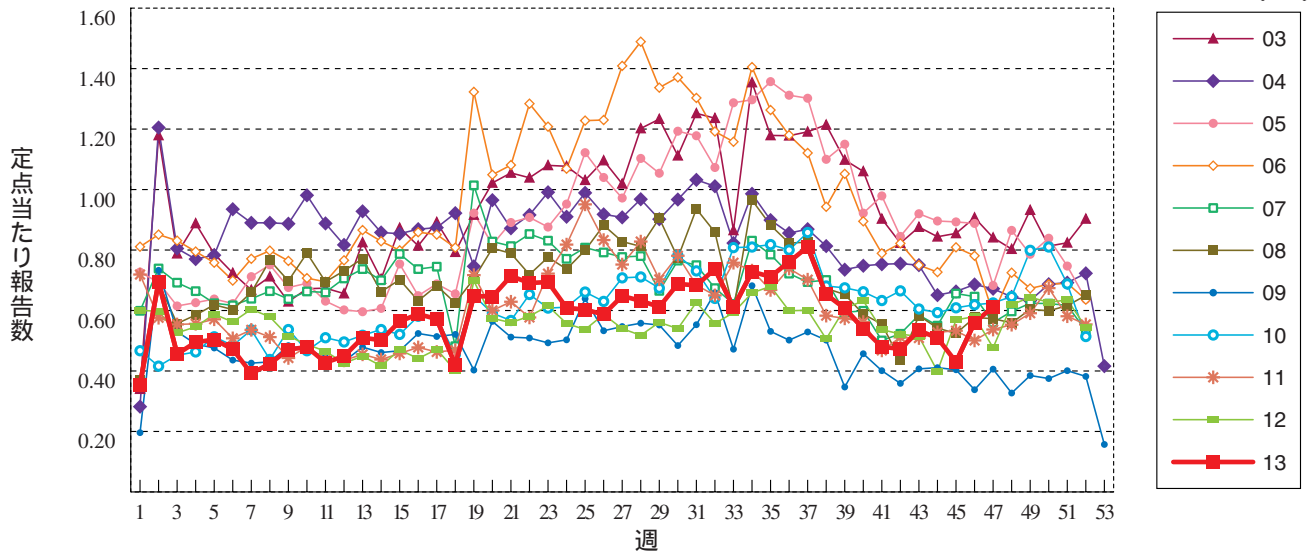
### 流行性耳下腺炎



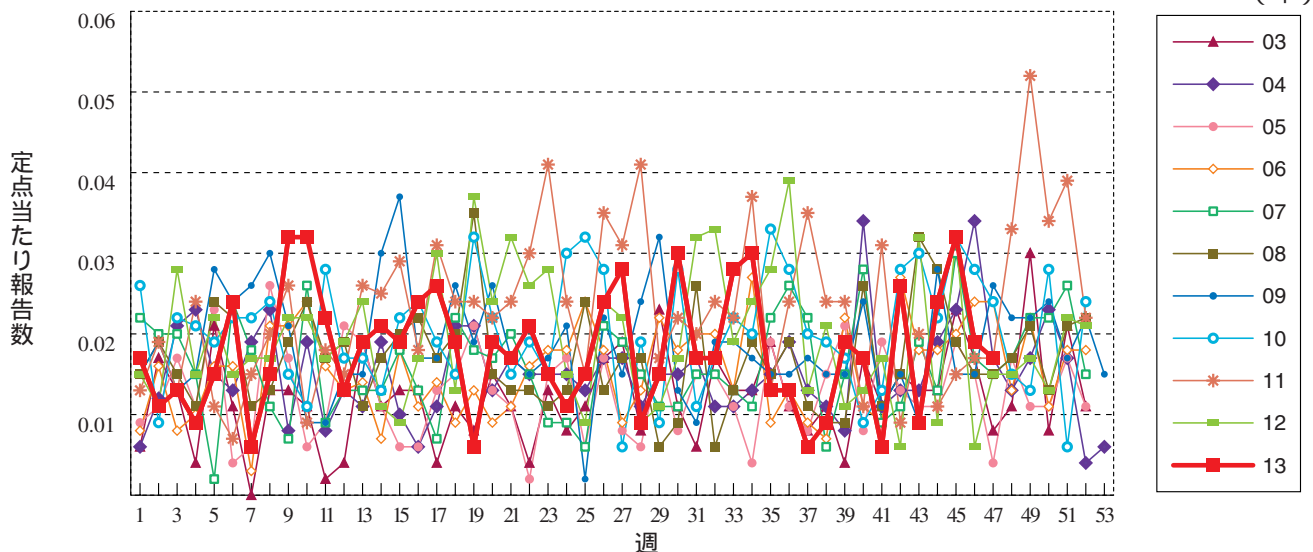
### 急性出血性結膜炎



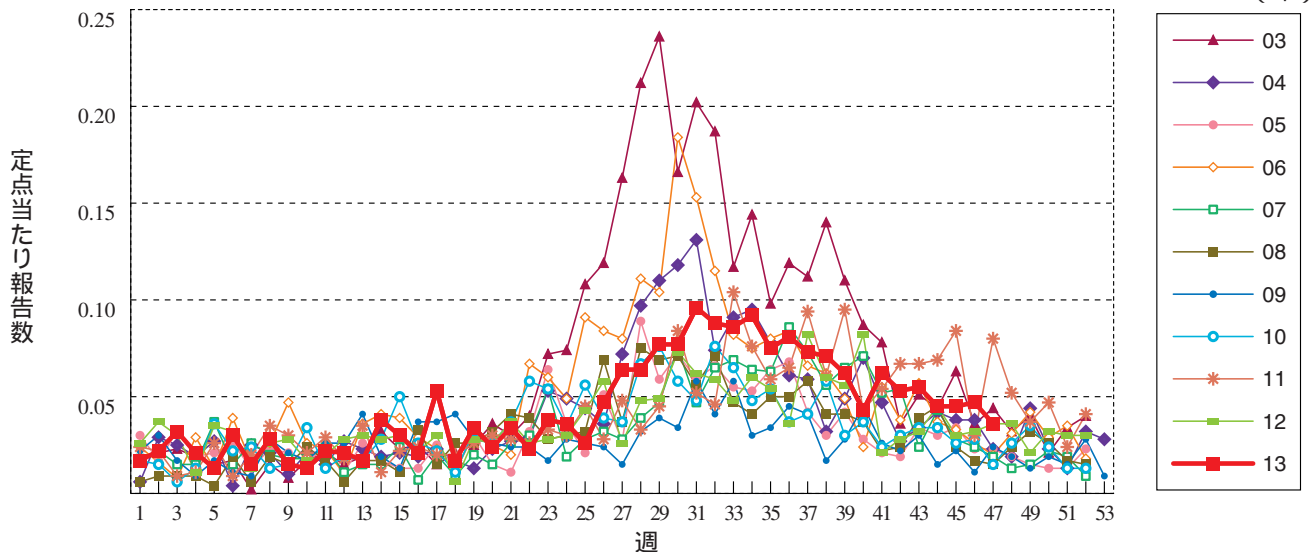
流行性角結膜炎



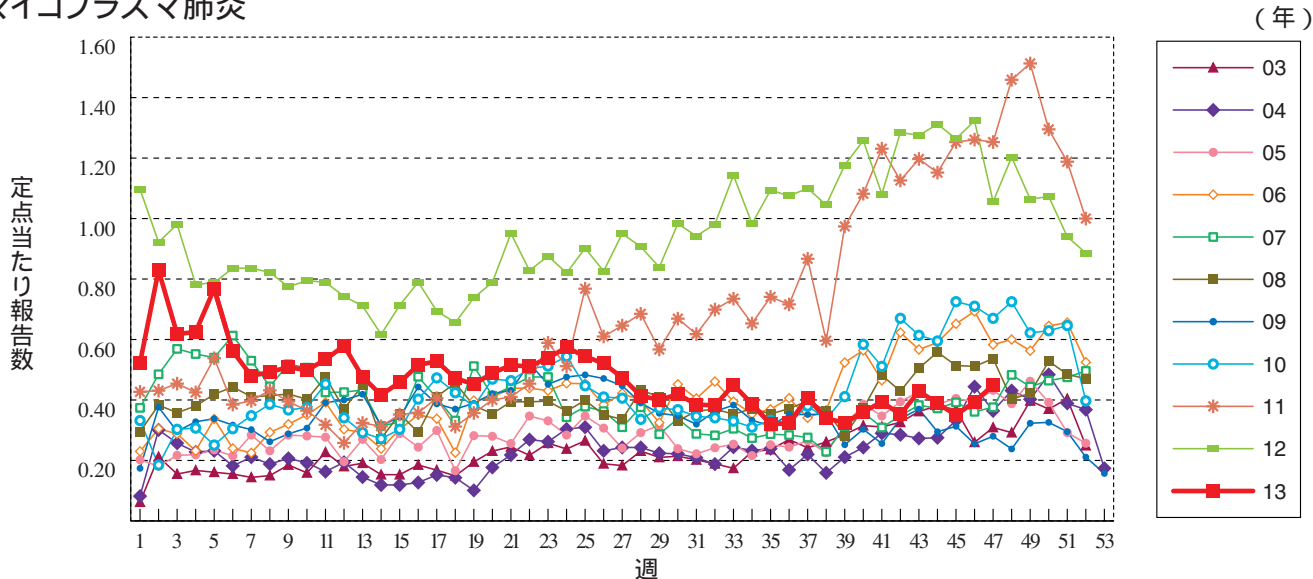
細菌性髄膜炎



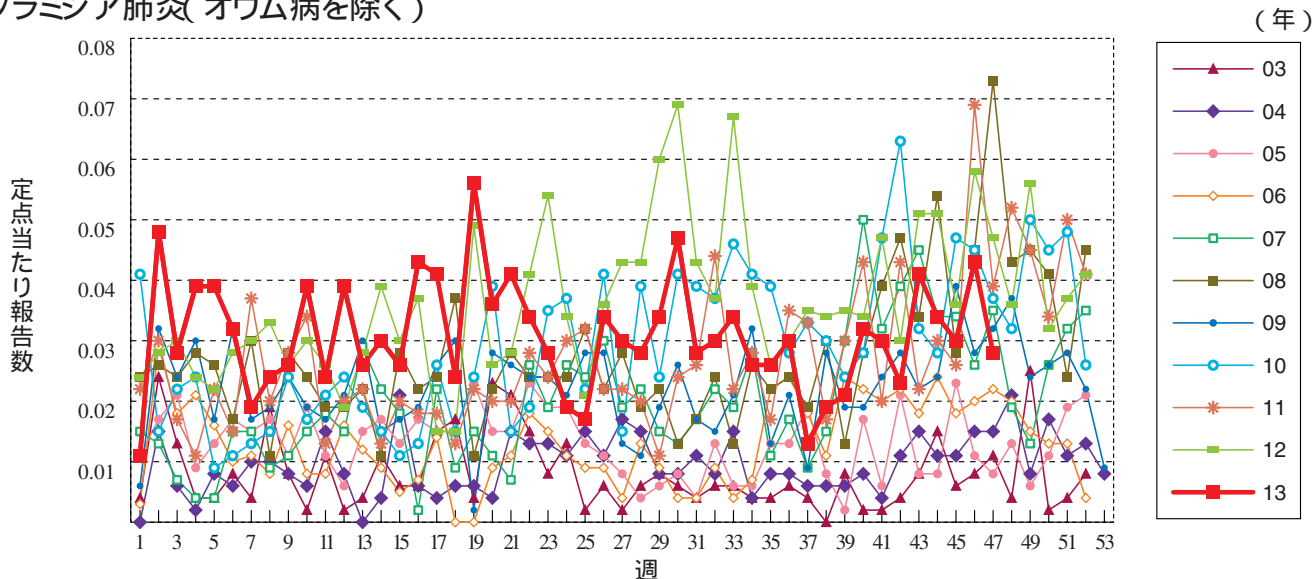
無菌性髄膜炎



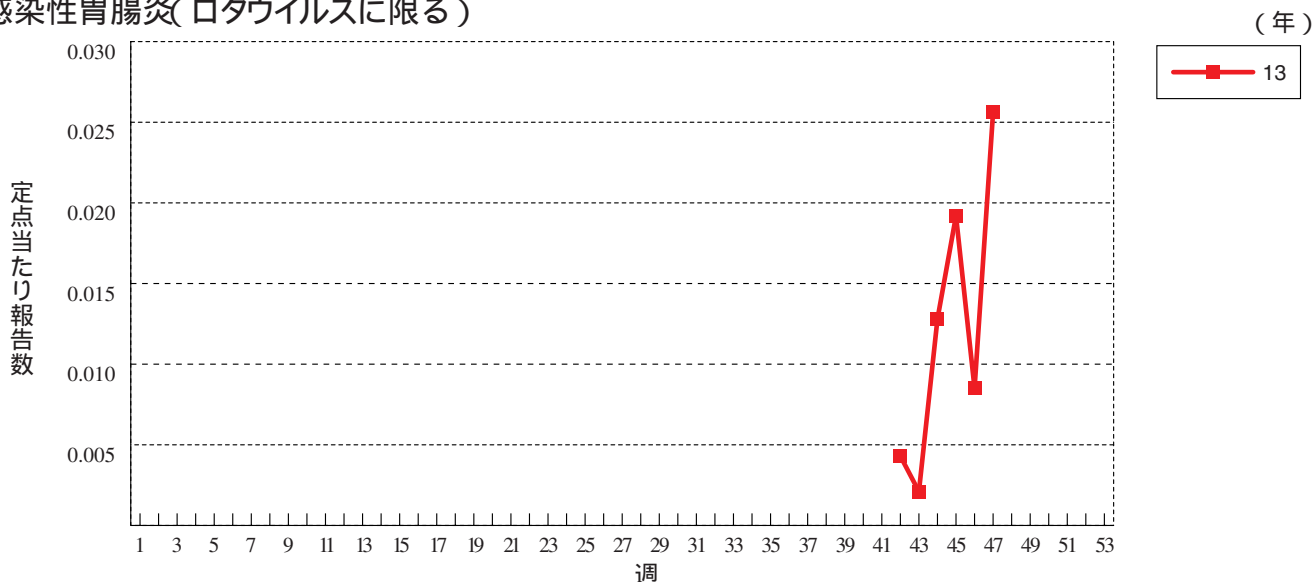
マイコプラズマ肺炎



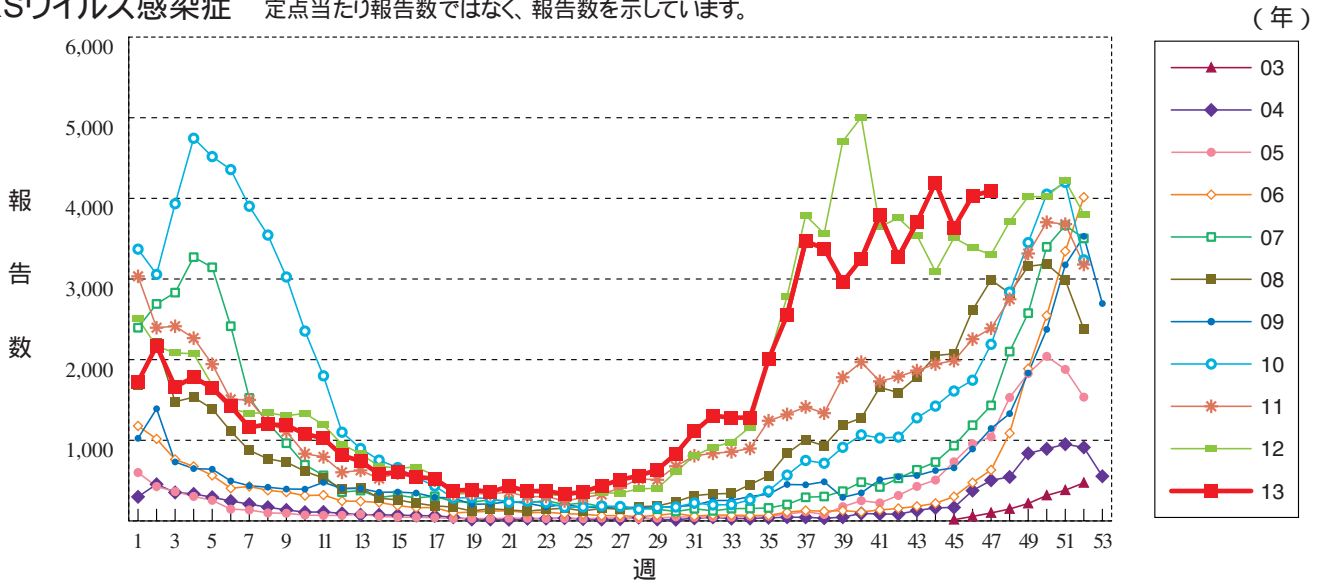
クラミジア肺炎( オウム病を除く )



感染性胃腸炎( ロタウイルスに限る )



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





### 47週のデータ

注) 表中の報告数は11月27日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年47週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	356	23890
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	698
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	278
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	207
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	314
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	158
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	198
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	293
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	451
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	300
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	234
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1145
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	1144
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76	3631
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1642
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	346
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	190
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	181
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	135
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	300
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	405
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	553
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1724
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	282
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	250
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	534
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	1595
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1135
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	302
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	257
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	120
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	316
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	476
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	250
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	148
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	189
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	188
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	119
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1043
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	180
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	336
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	259
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	274
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	232
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	281
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	429



\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3		2	131	50	3752	1	63	1	46	3	109
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	188	-	-	-	1	-	21
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	143	-	-	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	42	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	42	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	111	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	45	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	39	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	73	-	1	-	-	1	7
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	184	-	5	-	1	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	126	-	6	-	3	1	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	3	374	-	20	1	19	1	28
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	215	-	8	-	6	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	55	-	1	-	1	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	35	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	46	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	11	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	53	-	-	-	1	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	55	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	79	-	1	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	1	210	-	2	-	2	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	60	-	1	-	1	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	40	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	60	-	3	-	2	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2	142	-	2	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	150	-	3	-	1	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	30	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	40	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	61	1	2	-	1	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	45	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	2	256	-	3	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	49	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	83	-	1	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	25	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	94	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	64	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	117	-	16	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	5
北海道	-	-	-	4	-	14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	1	4	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	18	229	4	226	-	-	-	-	-	-	2	155	-	8	-	-	-	-
北海道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	18	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	8	-	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	5	8	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	2	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	40	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	1	33	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
広島県	1	9	-	3	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	3	9	-	3	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	20	1	4	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	45	-	-	1	18
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年47週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	4	24	1024	1	27	-	-	9	946	2	251	1	314
北海道	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	24	-	7	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	3	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	64	-	1	-	-	1	34	-	5	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	7	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	11	-	3	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	34	-	-	-	-	-	11	-	2	-	29
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	1	10	-	-	1	22
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	29	-	-	-	-	-	12	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	2	39	-	-	-	-	-	32	-	6	-	31
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	1	63	-	4	-	26
東京都	-	-	-	-	-	1	-	73	-	5	-	-	1	168	-	65	-	42
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	57	-	2	-	-	-	81	-	14	-	16
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	30	-	1	-	-	-	19	-	2	-	9
富山県	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	8	-	6	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	8	-	1	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	3	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	3	29	-	-	-	-	-	14	-	6	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	1	13	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	2	29	-	1	-	-	1	29	-	4	-	14
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	57	-	-	-	-	2	60	-	14	-	21
三重県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	6	-	3	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	5	-	1	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	19	-	9	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	60	-	1	-	-	1	96	1	20	-	24
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	33	-	-	-	-	-	40	-	10	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	9	-	2	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	24	1	2	-	-	-	15	-	11	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	13	-	12	-	7
山口県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	45	1	11	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	7	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	11	-	3	-	7
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	2	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	7	-	-	-	3	-	6	-	4

\*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	18	1	189	2	186	16	1367	-	77	2	92	-	19	21	765	-	25
北海道	-	10	-	5	-	5	-	28	-	1	-	2	-	-	-	26	-	-
青森県	-	-	1	3	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	9	1	4	-	15	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
福島県	-	-	-	3	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	6	-	-
茨城県	-	-	-	4	-	5	-	20	-	-	-	4	-	-	1	18	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	2	1	15	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-
埼玉県	-	-	-	10	-	6	-	35	-	2	-	2	-	1	-	37	-	2
千葉県	-	1	-	5	-	11	2	67	-	4	-	5	-	1	1	36	-	1
東京都	-	7	-	17	-	33	4	416	-	21	1	10	-	10	2	87	-	12
神奈川県	-	-	-	9	-	16	-	100	-	5	-	7	-	1	-	74	-	1
新潟県	-	-	-	1	-	3	-	10	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	1	-	6	1	4	-	-	-	3	-	-	1	13	-	-
石川県	-	-	-	4	-	3	-	9	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	5	1	16	-	1	-	-	-	-	1	15	-	-
岐阜県	-	-	-	6	-	2	-	14	-	2	-	1	-	-	1	22	-	-
静岡県	-	-	-	5	-	7	1	35	-	1	-	2	-	-	-	19	-	-
愛知県	-	-	-	9	-	8	1	81	-	2	1	11	-	1	1	60	-	2
三重県	-	-	-	1	-	2	-	14	-	-	-	1	-	1	-	7	-	1
滋賀県	-	-	-	2	-	4	-	11	-	-	-	3	-	-	1	10	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	1	20	-	1	-	3	-	-	-	14	-	-
大阪府	-	-	-	10	-	9	3	183	-	10	-	4	-	1	1	43	-	5
兵庫県	-	-	-	12	-	14	-	49	-	6	-	6	-	-	2	37	-	-
奈良県	-	-	-	7	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-
和歌山県	-	-	-	6	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1
鳥取県	-	-	-	2	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-
岡山県	-	-	-	4	-	2	-	14	-	1	-	1	-	-	-	14	-	-
広島県	-	-	-	8	-	2	1	28	-	2	-	-	-	1	-	5	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	1	10	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
香川県	-	-	-	2	-	2	-	12	-	-	-	2	-	-	1	12	-	-
愛媛県	-	-	-	4	1	6	-	5	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	9	-	3	-	55	-	4	-	7	-	-	2	43	-	-
佐賀県	-	-	-	2	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	3	-	9	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	2	-	8	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	1	-	9	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	17	-	2	-	5	-	1	-	16	-	-

\*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

\*\*髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年47週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄 膜 炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	11	1093	-	119	-	-	-	48	6	14279	1	213	-	-	-	2
北海道	-	22	-	8	-	-	-	1	-	109	-	2	-	-	-	-
青森県	-	4	-	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	43	-	3	-	-	-	2	-	104	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	10	-	3	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	18	-	5	-	-	-	1	-	121	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	10	-	2	-	-	-	-	-	48	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	11	-	7	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	32	-	4	-	-	-	8	-	607	-	27	-	-	-	-
千葉県	4	51	-	9	-	-	-	1	1	707	-	20	-	-	-	-
東京都	5	378	-	4	-	-	-	7	1	3399	-	62	-	-	-	-
神奈川県	-	63	-	5	-	-	-	5	-	1680	-	33	-	-	-	1
新潟県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-
富山県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
石川県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	3	-	-	-	-	-	63	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	21	-	3	-	-	-	2	-	149	1	6	-	-	-	-
愛知県	-	46	-	4	-	-	-	6	3	369	-	23	-	-	-	-
三重県	1	12	-	3	-	-	-	-	-	98	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	122	-	2	-	-	-	-
京都府	-	9	-	2	-	-	-	-	-	323	-	5	-	-	-	-
大阪府	-	142	-	3	-	-	-	7	-	3189	-	15	-	-	-	1
兵庫県	-	32	-	3	-	-	-	-	-	1167	-	7	-	-	-	-
奈良県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	184	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	247	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	7	-	3	-	-	-	1	-	74	-	1	-	-	-	-
広島県	-	12	-	1	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	-
山口県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
香川県	-	18	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-
高知県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	44	-	5	-	-	-	3	-	302	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	6	-	1	-	-	-	3	-	65	-	-	-	-	-	-
大分県	-	3	-	4	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	7	-	4	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	386	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	10	-	1	-	-	-	-	-	52	-	-	-	-	-	-







\*病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年10月14日より届出対象疾患となりました。

 報告数・定点当り報告数,  
 疾病・都道府県別 2013年47週

	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
	報告数	定点当り
総 数	12	0.03
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	1	0.05
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	1	0.13
埼玉県	2	0.20
千葉県	-	-
東京都	1	0.04
神奈川県	2	0.20
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	1	0.06
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	1	0.09
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	1	0.20
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	1	0.17
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	1	0.08
沖縄県	-	-

 報告数・疾病・都道府県別  
 2013年47週

	インフルエンザ (入院患者)	
	報告数	
総 数	20	
北海道	-	
青森県	-	
岩手県	1	
宮城県	1	
秋田県	-	
山形県	1	
福島県	-	
茨城県	-	
栃木県	-	
群馬県	-	
埼玉県	-	
千葉県	2	
東京都	4	
神奈川県	-	
新潟県	-	
富山県	-	
石川県	-	
福井県	-	
山梨県	-	
長野県	1	
岐阜県	-	
静岡県	1	
愛知県	2	
三重県	-	
滋賀県	-	
京都府	-	
大阪府	1	
兵庫県	-	
奈良県	-	
和歌山県	-	
鳥取県	-	
島根県	1	
岡山県	-	
広島県	-	
山口県	1	
徳島県	-	
香川県	-	
愛媛県	-	
高知県	-	
福岡県	1	
佐賀県	2	
長崎県	-	
熊本県	-	
大分県	-	
宮崎県	-	
鹿児島県	1	
沖縄県	-	

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 ) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年47週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1又はH7N9 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2013年47週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第47号 2013年12月6日発行  
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。